

第7章

事業の推進





- 7.1 事業計画
- 7.2 推進体制
- 7.3 今後の課題

7.1 事業計画

第6章で示した個々の実現施策について、取り組むべき課題の重要性や緊急性、事業実施に伴う経済性などを総合的に勘案しながら、施策に取り組む始める時期をもとに計画期間の目安を次のとおり設定します。

施策の計画期間として、概ね直近5年(2019～2023年度)で取り組むべき施策を短期目標、概ね直近10年(2024～2028年度)で取り組むべき施策を中期目標、緊急性はないが長期的(2029年度～)に取り組むべき施策を長期目標、その他継続的に取り組むべき施策を継続目標と区分し設定します。

【事業計画凡例】

短期目標		概ね直近5年(2019～2023年度)で取り組むべき施策
中期目標		概ね直近10年(2024～2028年度)で取り組むべき施策
長期目標		緊急性はないが長期的(2029年度～)に取り組むべき施策
継続目標		その他継続的に取り組むべき施策

1) 基本方針1 【安全】で安心な水道水の確保

施策目標及び実現施策	事業計画期間		
	2019～2023 年度	2024～2028 年度	2029 年度～
	短期	中期	長期
施策目標 1-1 安全で安心な水道水の確保			
① 水安全計画の策定			
◆ 「水安全計画」策定による安全な水の供給			
② 水質管理の徹底			
◆ 水質検査の徹底及び水質監視体制の強化			
◆ 紫外線滅菌装置及び pH コントロール導入の検討			
③ 水道施設の安全対策			
◆ 屋外水道施設の安全対策を強化			
◆ 各種管路施設点検の計画的な実施			
施策目標 1-2 安定した水量の確保			
① 取水施設の機能維持			
◆ 老朽化した取水施設更新の検討			
施策目標 1-3 安全な給水の確保			
① 水質の向上			
◆ 管内カメラ調査及び洗管作業の計画的な実施			
② 鉛管の解消			
◆ 鉛管使用の実態把握及び解消			

2) 基本方針 2 災害に対して【強靱】な水道施設の整備

施策目標及び実現施策	事業計画期間		
	2019～2023 年度	2024～2028 年度	2029 年度～
	短期	中期	長期
施策目標 2-1 効果的・効率的な水道施設の整備			
① 統廃合を踏まえた効果的な水道施設の更新整備			
◆ 耐用年数が少ない施設の更新計画策定及び整備			
◆ 旧簡易水道地区老朽化施設の更新計画策定及び整備			
② 効率的な老朽管の解消及び管路耐震化			
◆ 「管路耐震化・更新計画」の策定及び計画的な耐震化・更新			
施策目標 2-2 災害に強い水道施設の整備			
① 水道施設の耐震化			
◆ 基幹水道施設の耐震診断実施及び耐震化の実施			
◆ 小泉浄水場の浸水対策			
② 水道施設のバックアップ体制の構築			
◆ 基幹水道施設の二重化またはバックアップ体制の構築			
施策目標 2-3 災害・危機管理体制の強化・充実			
① 危機管理マニュアルの運用			
◆ 各種危機管理マニュアル運用方法の周知徹底			
◆ 水道施設に対する安全対策の徹底			
② 災害時応急体制の構築			
◆ 応急給水設備及び応急給水拠点の運用方法の検討			

3) 基本方針3 健全な水道事業運営の【持続】

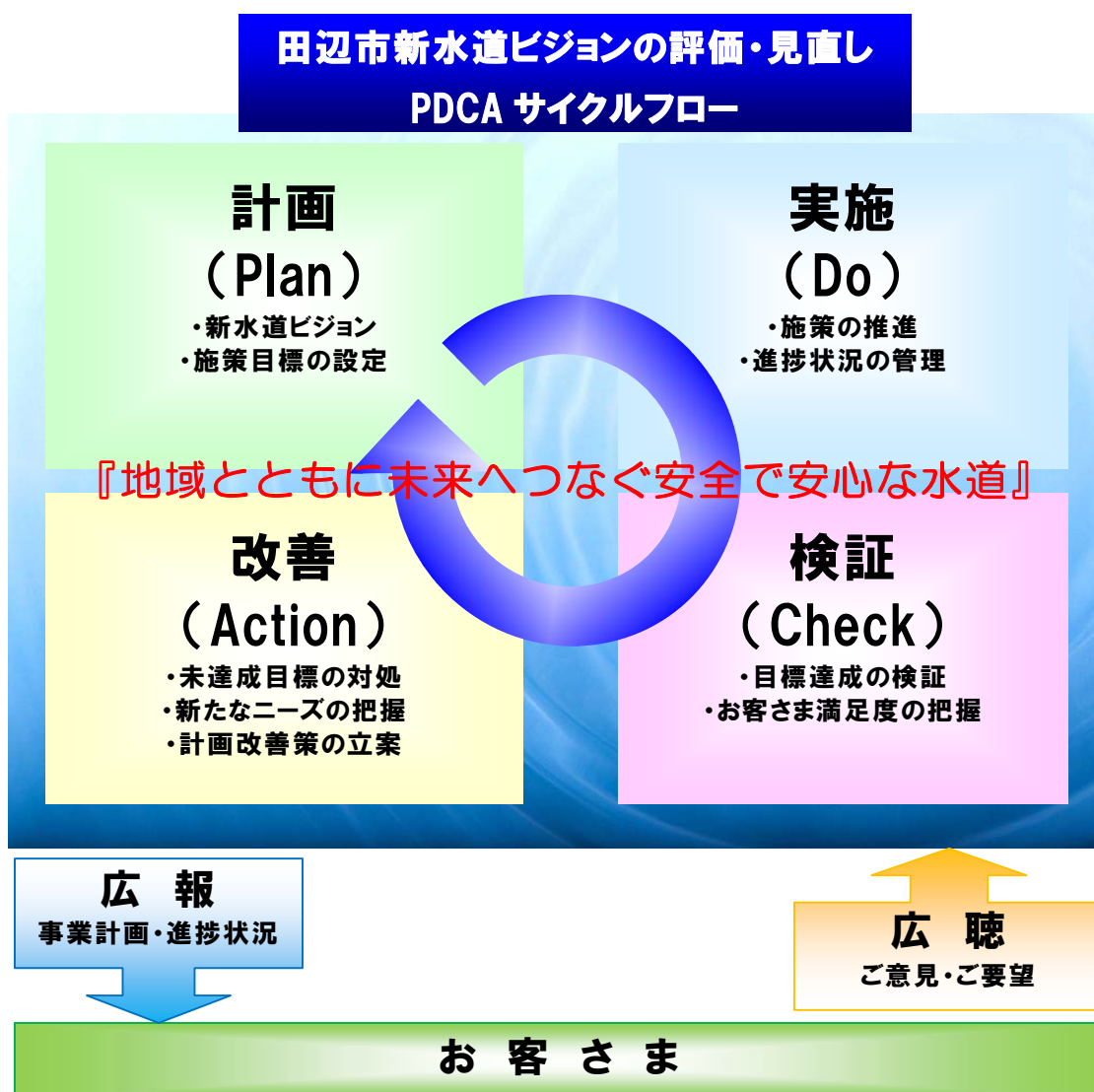
施策目標及び実現施策	事業計画期間		
	2019～2023 年度	2024～2028 年度	2029 年度～
	短期	中期	長期
施策目標 3-1 経営基盤の強化			
① 健全経営の持続			
◆ 持続可能な健全経営	←————→		
② 水道事業統計値の活用			
◆ 水道事業に係る各種統計値の積極的な活用	→		
③ 水道事業広域連携の検討			
◆ 本市水道事業の実状に合った広域連携の方法の検討			→
施策目標 3-2 技術基盤の確保			
① 技術職員の育成強化			
◆ 水道技術の継承を目的とした人材育成の強化	←————→		
② 保有システムの更新			
◆ 各種システムの見直し	→		
施策目標 3-3 各種サービスの拡充			
① 収納方法の多様化			
◆ 新たな料金収納方法の導入の検討	←————→		
② 情報公開の充実			
◆ ホームページ公開情報の充実と積極的な更新	←————→		
③ 情報収集の強化			
◆ 漏水被害などの情報収集システム構築の検討	←————→		
施策目標 3-4 維持管理の効率化			
① 中央監視システムの再構築			
◆ 中央監視システムの再構築	→		
② 効率的な維持管理手法の追求			
◆ 耐用年数を超過した各種設備の計画的な更新	→		
◆ 施設維持管理業務委託による経営の効率化の検討	←————→		
◆ スマートメーター導入の検討	→		
◆ 各種保管書類の電子化による書類管理の効率化	→		
施策目標 3-5 環境負荷の低減			
① 省エネルギー化			
◆ 高効率ポンプ導入の推進による省エネルギー化	←————→		

7.2 推進体制

本水道ビジョンでは、次の3つの基本方針を設定しています。

- 基本方針 1 **【安全】**で安心な水道水の確保
- 基本方針 2 災害に対して**【強靱】**な水道施設の整備
- 基本方針 3 健全な水道事業運営の**【持続】**

これらの基本方針を適正かつ効果的に達成していくために、計画（Plan）、事業の実施（Do）、目標達成の検証（Check）、事業の改善、向上（Action）を行います。また、本水道ビジョンについては、概ね5年に1度、事業推進に伴う問題点、事業の効果などを検証し、時代背景や財政状況、お客さまのご意見・ご要望を踏まえ、見直しを図ります。



7.3 今後の課題

本水道ビジョンは、田辺市水道事業の長期的な将来像を見据えた基本的施策を示すものとして位置づけます。今後、本水道ビジョンの基本理念や基本方針に基づいた各施策の実現に向けて、分野ごとの個別計画を策定し、円滑に事業を実施していく必要があると考えます。

【新水道ビジョンと各種計画との関係図】

